

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	みどり公園課長 高井 譲	
		主管課(関係課)【2】	みどり公園課	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
環1-1	みどりの保全・活用	みどりの保全と創出を進めるために	環境にやさしいまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	市内には公園や農地などのみどりが存在しています。身近なみどりは、地球温暖化や公害などの環境問題の防止に役立つとともに、わたしたちの日常生活にやすらぎをもたらします。本市では、ボランティアの育成や支援、樹林・樹木・生垣の保存の支援などにより身近なみどりの保全・活用に取り組んできましたが、相続や都市開発などの影響から、みどりの総量は、減少する傾向となっています。次世代に身近なみどりを残し、良好な環境を引き継いでいくためにも、市民との協働による取組や市民の自発的な緑化活動を支援し、みどりの保全を進める必要があります。また、農地を保全する取組を進めることにより、貴重なみどりの空間を確保することも必要です。		◆市民と協働した公園の維持・管理 ◆市民と農業のふれあいや交流	市民との協働による公園管理のしくみや、農地や樹木、樹林、生垣などを維持するしくみを整え、身近なみどりの保全・活用をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇一人あたりの公園面積が、26市中下位である反面、開発に伴う提供公園など小規模公園や緑地が増加し、維持管理経費の増加を考慮すると、効率的な維持管理はもちろんこと、利便性の向上も含め、市民と協力して維持管理することがますます求められ、公園ボランティアの拡大が重要となっています。 ◇少子高齢化社会を踏まえ、高齢者等の健康づくりに有効な公園ボランティアへの参加を促進する施策が求められています。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	みどりを保全・活用するしくみを形成します	緑地を保全・活用する仕組みの形成	
	2	農地の多面的機能を活用し、保全につながる取組を進めます	都市と農業が共生するまちづくり事業の推進	

【施策の成果】

			年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「みどりの保全・活用」に対する満足度	目標値	38%			単位	%	
		算出式・説明	市民のみどりに対する意識啓発を高めるために、市が行っている「みどりの保全・活用」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	35.6	35.6	35.6	35.5		
		達成率		94%	94%	94%	93%			
		名称	公園ボランティア登録会員数	目標値	800人			単位	人	
	指標2	算出式・説明	公園のみどりを保全する上で担い手の確保が重要です。この担い手としての公園ボランティア登録会員数を増やすことを目標とします。	実績値	726	895	873			
		達成率		91%	112%	109%	0%			
	指標3	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
	指標4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
	達成率の平均値				93%	103%	102%	47%		

【市民意見】【13】

24年度		27年度	
満足度(%)	35.6%	満足度(%)	35.5%
満足度(平均ポイント)	0.08	満足度(平均ポイント)	0.09
重要度(%)	74%	重要度(%)	76.2%
重要度(平均ポイント)	1.07	重要度(平均ポイント)	1.14

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input type="checkbox"/> 以前と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	Ⅱ	成果の向上を図りつつ、コストは現状を維持する施策領域	
【一次評価後の事情変更等】				
説明【23】				
【行革本部評価】				
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	判断理由等【24】	みどりの保全・活用については、下保谷四丁目特別保全緑地の取得などによるみどりの保全に取り組んできましたが、開発に伴い提供される小規模な公園や緑地の維持管理が課題となっています。西原自然公園の植生・維持管理、公園の維持管理などについては、市民協働により取り組んでおり、公園ボランティア登録人数は目標値を上回っているものの、今後もボランティアの継続的な育成が必要と考えています。市民意識調査結果では、前回調査と同様に満足度は高くなっていますが、開発等の影響によりみどりは徐々に失われています。身近にあるみどりを活用した新しい取組の検討や、健康都市連合への加盟に伴う健康の視点からの「みどりの重要性(=価値)」の検証といった観点から、まち全体でのみどりの保全に取り組めるしくみづくりなどを進めるため、実施コストは現状を維持しつつ、施策内容の拡充に努めるべきと判断しました。		
	施策実施方針【22】	Ⅱ	成果の向上を図りつつ、コストは現状を維持する施策領域	

【施策内の事務事業貢献度判定】

環1-1 みどりの保全・活用

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	西原自然公園の植生・管理	みどり公園課	市内でも数少ない貴重な樹林を有する西原自然公園において、樹林の再生を目的とする更新作業などを行い、主林木であるクヌギやコナラの成長等を促すため、市民団体である「西原自然公園を育成する会」と協働で植生管理を行っています。更新区域約2万㎡を20年かけ1年に1千㎡の割合で面的に伐採を行い、伐採材は市民に無料配布し有効利用を図っています。
	公園ボランティアとの協働	みどり公園課	市の管理する公園緑地は、地域の憩いとコミュニケーション場でもあります。自主的に参加する市民及び団体による活動を促進し、みどりに親しみ、みどりの保全への意識を高めていき、市民協働による公園緑地の管理運営を推進していくことで、維持管理経費を抑制していく必要があります。 また、公園管理協力会員には、ゴミ袋やホウキ等の必要な用具を貸与し引き続き支援していきます。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業 の評価 (直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費			
8,745	5,040	3,705	改善・見直し (平成25年度)	上	B
2,199	552	1,647	改善・見直し (平成25年度)	中	—
10,944	5,592	5,352			